

まきは

「あなたは実を結ぶ」

「エフライムよ 私と偶像とに何の関わりがあろう。私は彼に答え、彼を見守ろう。緑豊かな糸杉、それが私である。私によって、あなたは実を結ぶ。」

(ホセア書 第14章9節・旧約聖書1400頁)

はじめに

ホセア書のテーマは「神は、裏切られてもなお私を愛し続けてくださる」だと申しあげました。神は不実な者の失敗や背信をゆるしてくださるだけではなく、愛し続けてくださる憐れみ深い方です。それは私たちの想像を遙かに超えているため、理解しがたいのですが、それを受け止めることが信仰なのだとしあげました。今日は憐れみを受けた私たちがどう歩んでいけば良いのかを見ていくことにします。

神の呼びかけ

ホセア書では「イスラエル」だけではなく、「エフライム」との呼びかけの言葉が出てきます。語られている対象が二者だったのではありません。意味があって、神は呼びかけ方を変えておられるのです。

「イスラエル」とは神が選ばれた民を指します。神からの救いを受けて歩む者、現代で言えばクリスチャンであると考えてください。ではエフライムとの呼びかけにはどのような意味があるのでしょうか。ご存じのようにエフライムはエジプトの宰相となったヨセフの子で、イスラエル12部族の中の一つです。相続地に移ってからは北イスラエル王国を代表する部族になりました。それは北王国の都となったサマリアがあったからだと考えられます。

北王国は南と分裂後、ひたすら神に背き、神を嘆かせます。この書にも「エフライムはさまざまに偶像に縛られている」(4:17)、「淫行がエフライムに付きまとい」(6:10)、また虚しいもの

に労力を費やしているとの意味である「エフライムは風を養い、虚偽と暴虐を増す」(12:2)などと指摘されているのがわかります。エフライムは墮落の代名詞として用いられたのです。

本来の姿

しかしホセアを通して神は、そのような墮落したエフライム、裏切りに満ちた選びの民に憐れみをかけ、偶像から離れよ、虚しい者に頼るな、汚れを遠ざけよと言葉をかけ、エフライムの悔い改めを促しています。エフライムとは「苦難を通し、多くの実を結ぶ者」との意味であり(創世記41:52、49:22)、あなたは本来、多くの実を結ぶ者とされているのだと思い起こさせている言葉でもあるのです。

神に従う

ペトロも失敗を責められているのではなく、これからどうするのかとの決断を迫られています。それが「私に従え」でした。失敗は赦される、重要なのはその後の行動です。ホセア書の最後に「神の諭しを受け入れて主の道を歩むか、罪を指摘されてもなお神に背く道を選ぶのか」と決断を迫られています。神の憐れみを知った私たちは、その上にあぐらをかいているのではなく、「もう一度神の道を歩みます」との姿勢を表すことが求められているのです。もし、そのようにして緑豊かな糸杉につながっていくならば、私たちは本来約束されているように実を結んでいくのです。

【礼拝説教はスマホでも視聴できます】
右記のQRコードを読み取ってアクセスしてください。



今週の祈り

「エフライムよ 私と偶像
とに何の関わりがあろう。

私は彼に答え、彼を見守ろう。緑豊かな糸杉、それが私である。私によって、あなたは実を結ぶ。知恵があり これらのことを理解し 洞察をもってそれと認める者は誰か。主の道はまっすぐで、正しき者はそこを歩む。だが、背く者はそこにつまずく。」(ホセア書 2:16 ~ 19)

『『ヨハネの子シモン、私を愛しているか。』…『主よ、あなたは何もかもご存じです。私があなただを愛していることを、あなたはよく知っておられます。』…このように話してから、



ペトロに、『私に従いなさい』と言われた。」(ヨハネによる福音書 21:17 ~ 19)

神さま、私はあなたから多くの祝福を与えられる者だと言われていたのに、あなたに逆らい、背き、そして裏切り、その祝福を受けられていない者でした。しかし、その姿をホセア書の預言を通して知ることができました。これから祝福をいただき、実を結ぶことができるようになります。あなたに従い、まっすぐなあなたの道を歩みます。どうぞ私が祝福の実を結ぶことができるように導いてください。御名によって祈ります。アーメン。

深読みにチャレンジ!

箴言 (103) 第5章6節

*三つの違う訳を読み比べてみましょう。

◎協会共同訳 「命への道筋に気を配らず 道をさまようが、それにも気付かない。」

◎口語訳 「彼女はいのちの道に心をとめず、その道は人を迷わすが、彼女はそれを知らない。」

◎新改訳 「その女はいのちの道に心を配らず、その道筋は確かでないが、彼女はそれを知らない。」

「気付かない」

何事にも無頓着な人がいます。私は几帳面と言うよりも神経質なので、例えばシリーズ本を棚に並べるときには1の横には2、2の横には3を並べないと気が済みません。途中で4と6があり、5がなかったときには必死に5を探索します。ところが、無頓着な人は2の次に5があっても、その隣が上下逆になっていてもまったく気に留めません。そういった状況を他人の部屋で目に見ると、私は「なんで平気なの?」と思ってしまうわけです。だらしないわけではありません。そのようなことに固執していません。「気を配らない」とは、そのような状態を言います。

生活の雑事についてならばまったく問題ないのですが、日常生活を送っているときに、もし自分の生き方に無頓着ならば、大変なことになると思います。ここで父が言う「よその女」は、生き方、

【神からの知恵によって生きる】

箴言はソロモンが語った知恵の言葉を中心に構成されています。31章から構成されていますが、あたかも短編を読んでいるかのように、種々雑多な知恵の言葉が連なっています。ソロモンが思いつくままに語った言葉を、そのまま筆記したのではないかと思えるほどです。

この書このような性格上、まとめて解説するのが難しいため、この欄で、一つ一つの言葉をじっくり味わいたいと思います。箴言から得る知恵によって、深みのある生き方を学び、よりよい人間関係を築かせていただきたいと思います。

- 1 父から子へ・受け継がれるべき知恵 (1:1 ~ 9:18)
- 2 生活の処方箋・知っておくべき知恵 (10:1 ~ 22:16)
- 3 先人からの知恵 (22:17 ~ 31:31)
 - a 知恵ある人の言葉 (22:17 ~ 24:34)
 - b ソロモンの言葉 (25:1 ~ 29:27)
 - c アゲルの言葉 (30:1 ~ 33)
 - d レムエルの言葉 (31:1 ~ 31)

倫理観、物事に対する価値基準、いっさいに気を配らない人でした。ですから、その道が間違っている、曲がっていてもいっさいおかまいなしで歩いている状態だった。善悪の感覚もなくなって、自分が行く道が正しいという歩き方をしていたわけです。

生き方に無頓着な人は、自分の欲望のまま、そして自制することなく進み続け、破滅へと向かって行くこととなります。その人について行くことは、破滅の道に同行することでもあるわけです。

聖書日課

毎朝、決められた時間に聖書を読み、お祈りをするのはクリスチャンの生命線です。この聖書日課を使って心の糧を欠かさないようにしましょう。そのために最低でも15分間を神との交わりのために聖別してください。

朝にどうしても時間のとれない方は、昼休みでも就寝前でもかまいません。ぜひ、実行してください。

【祈りの時の持ち方(例)】

- ①まず黙想し、次に、自分の心を神に向けるために賛美する。賛美曲を歌えない場合は、歌詞を味わう。
- ②御言葉を読み、自分へのメッセージが何かをさぐる。例えば、神の恵み、告白すべき罪、従うべき命令、ならうべき模範など。
- ③自分が神のメッセージにどうこたえるのかを祈る。感謝や信頼の表明、悔い改め、服従、献身など。
- ④自分の祈りだけでなく、できるだけ「祈禱課題」も祈る。

【月曜日】 ◆今週のすべての集会在祝福され、救いにつながるように祈りましょう。

詩編第11篇7節「主は正しき方。正義を愛される。心のまっすぐな人は御顔を仰ぎ見る。」◆私たちはとんでもなく悪い時代に生きている。ソドム、ゴモラがそうでなかったかと思う。神をあなたどる人たちは悪へと向かっていくから、そこで正しく生きようとしたら苦痛が伴う。我慢も限界だ。だが、その「悪しき思い」に支配されてはならない。私たちがまた同じソドム、ゴモラの住人になってしまう。神に向いていこう。口の妻のように、悪しきものにひかれてはならない。神の御顔をつねに仰ぎ見て、この世にあってまっすぐに歩む者とさせていただこう。

●賛美 / 150 ●祈禱課題

◆昨日、礼拝に集えなかった人が恵みからもれないように。
◆この教会も世界宣教の一拠点であることを自覚し、重荷を持って祈れるように。特に共産圏、イスラム圏伝道が進むように。迫害にある宣教師のために。現地語聖書の翻訳が進むように。異端からの救出が進むように。台湾活水泉の活動のために。

【火曜日】 ◆教会のビジョンのため、将来の働きが祝福されるように祈りましょう。

詩編第12篇7節「主の仰せこそ清い仰せ。土の炉で精錬され、七度純化された銀。」◆人をだましても平気な人がいる。すべての人が信用できないわけではないのだが、人間の言葉を信じ切ってしまうと裏切られたときにほんとうに落ち込んでしまう。その人自身が悩んでいて、自分の生きることで精一杯なのだから、他人を生かすことまで責任を持ってない。悩む時にやさしい言葉をかけられればうれしいが、その人が悩みを背負ってくれるわけではないことを承知しておくべきだ。神の言葉こそが自分を生かすのである。

●賛美 / 151 ●祈禱課題

◆日本福音同盟、日本福音連盟、聖化交友会、キリスト教各出版社、EHC、ケズィック、太平洋放送協会、F E B C、キリスト者学生会、日本国際飢餓対策機構、ワールド・ビジョン、いのちの水計画、総動員伝道、Hi-b.a.、日本国際ギデオン協会(聖書配布)、新生宣教団等の働きとスタッフのため。

【水曜日】 ◆宣教福祉事業が祝福されるように祈りましょう。

詩編第13篇2節「いつまでですか、主よ。私をとこしえにお忘れになるのですか。いつまで御顔を隠されるのですか。」◆私たちはせっかちだ。祈ればすぐに結果がついてくると思ってはならない。だが、神が聞いていないということではない。私たちが知らないところで実行に移されているのだ。子どもに何かねだられて、すぐに買い与える親はいない。親は子どもの必要なものが何かをさぐり、そして最善の時を見計らって与えるはずだ。「いつまで」という祈りはしても、「私はあなたの慈しみに頼る」(6)との告白も忘れずに祈りたいと思う。

●賛美 / 152 ●祈禱課題

◆新会堂が与えられるように祈りましょう。①バス通りに面した場所に良い土地が与えられるように②十分な資金が与えられるように③早期に建てられるように
◆宗教法人を取得できるように
◆伝道の拠点が祝福され、用いられるように。(まきば、小山宮下事務所、向陽町)

【木曜日】◆弱っている方々、病にある方々のために祈りましょう。

詩編第14篇3節「すべての者が神を離れ、ことごとく腐り果てた。善を行う者はいない。一人もない。」◆この世の価値観は「神はいない」の上に成り立っている。「いや、みな神社仏閣に行っ
て、熱心に手を合わせ拝んでいるじゃないですか」。そう言うか
も知れない。だが、本当の神とは人間にコントロールされるよう
な神ではない。多くの者たちは神のように振る舞い、生きている。
だから、自分が正しいと主張し、自分の言いなりにしなければ
気に入らず、トラブルばかり起こすのだ。善を行う（神に従う）
者がいない中、私たちは神の前に出なければならない。

●賛美／153 ●祈禱課題
◆教会学校の成長と救い、青年の結
婚、教会員の信仰の成長と家族の救
いのため。
◆教会ビジョンのため（社会宣教事
業、伝道所の開設、保養施設建設、
会堂建築、納骨堂、宗教法人格取得、
学生寮、高齢者住宅）、教会員から
伝道者や献身者が与えられるよう、
教会会計の祝福

【金曜日】◆礼拝出席平均が50名以上となり、受洗者が年間3名以上与えられるように祈りましょう。

詩編第15篇1節「賛歌。ダビデの詩。主よ、誰があなたの幕屋
にとどまり 聖なる山に宿ることができるのでしょうか。」◆幕屋
にとどまるとは、自分の人生が神の豊かな祝福に満たされる保
証があることをいう。「どうしたら私は幸せになれるでしょうか」
が人間の人生への問いである。幸せになるための条件はいろ
いろあるように思えるが、かりに自分の望みが満たされたたとして
も、その人は幸せだとは思えないはずだ。欲望は尽きないから
だ。だから、私たちは幕屋に宿らなければならない。そのため
に主イエスは私たちに幕屋を開き、招いてくださった。

●賛美／154 ●祈禱課題
◆この教会に聖霊の著しい働きがも
たらされ、リバイバルが起こるよう
に。常に新来会者が与えられ、求道
者、受洗希望者がもたらされて、教
勢が祝福されるように。
◆土屋牧師、淳子師（牧師一家）、
思乃扶師、石出師の働きのために。
◆老齢の方、病の中にある方々のい
やしのために。

【土曜日】◆聖日に備え、健康が保たれ、出席しやすい天候が与えられるように祈りましょう。

詩編第16篇8節「私は絶えず目の前に主を置く。主が右にお
られ、私は揺らぐことがない。」◆「目の前に主を置く」とは、
いつも神を覚えて歩むということだ。神の民たちは、自分の額
や手に巻きつけたり、家の柱に神の言葉を刻み、神を忘れない
ように生活をした。あなたの家にはカレンダーがいくつあるだろ
うか、時計はどうか。そのようなものよりも大事で、最も忘れ
てはならないことは、神があなたと共にいることであり、その神
に「私は心を尽くし、思いを尽くしてあなたを愛します」と何度
も言うことなのだ。

●賛美／155 ●祈禱課題
◆子どもを含め、すべての人が礼拝
を守れるように。あらゆる集会が祝
福され、参加者が御言葉によって取
り扱われるように。奉仕者が恵まれ
てご用にあたれるように。
◆ホームページが用いられるよう
に。また礼拝動画が用いられるよう
に。教会から出している週報や印刷
物が用いられるように。

【日曜日】◆新来会者が起こされるように祈りましょう。

詩編第17篇5節「私の歩みはあなたの道を守り 足取りの揺らぐ
ことはありません。」◆私たちが神に頼らずまっすぐに、そして
確実に歩みを進めようとしても、神を認めて歩まない限り、必
ず揺らぎ、そしてすべる。だが、すべての道で主を認めて歩む
ならば、私たちは何の心配もなく前に進むことができる。ダビ
デは言った。「たとえ死の陰の谷を歩むとも、切り立った崖の稜
線を歩いていたとしても、私は恐れない。神が共にいて助けて
くださるからだ」。悪路のように思えても、神を認めて歩む道は、
神の道、私たちにとって最善の道となる。

●賛美／156 ●祈禱課題
◆この教会に連なるすべての方々が
聖日礼拝を厳守できるように。聖書
通読を続けられるように。御言葉を
味わえるように。祈りに励めるよう
に。ささげる恵みにあずかれるよう
に。積極的に神さまから受けた恵み
を語れるように。
◆受験生、就職活動者、試練にある
者のために。



おやこでせいしよ

●きょうのせいしよ

【マタイによるふくいんしよ 14:22～33】

「みずうみのうえを あるく」

(マタイ14:27)

イエスさまが3ねんのあいだかみさまをしんじたらどんなすばらしいことがおこるのかおしえたり、びょうきをなおすこともしたりしてせんきょうしていたのはエルサレムからとおくはなれたガリラヤでした。「けがれたばしよ」といわれていたところだったからです。

みずうみでりょうしをしていたペトロはガリラヤでうまれ、そだちました。あるひイエスさまとであい、りょうしをやめてでしとなったひとでした。

あるひのこと、イエスさまはでしたちをガリラヤこのはんたいがわにいくようとふねにのせました。イエスさまだけはおいのりをするためにのこられ、でしたちだけがさきにしゅっぱつしたのです。

ところが、ゆうがたになり、かぜがでてき

て、なかなかふねがまえにすすまなくなりました。そうこうしているうちに、なんとイエスさまがみずうみをあるいてふねにちかづいてこられたではありませんか。いや、みずうみをあるけるひとはいませんから、でしたちはゆうれいだとおもって、こわがりました。

「わたしだ」とイエスさまがおおせになったので、でしたちはあんしんしたのですが、ペトロはふしぎでなりません。「わたしもみずうみのうえをあるかせてください」。おもわずそういいました。するとイエスさまが「きなさい」とおっしゃいました。そこでペトロはふねをおり、みずのうえにあしをおきました。するとなんとしずみません。いっぽ、またいっぽとすすんだとき、かぜでなみがあれているのをみたペトロはこわくなってしまいます。そのしゅんかん、ズブズブズブ。ペトロはしずみかけてしまいました。イエスさまは「ことばをしんじたら、しずむことはないのだよ。しんこうをふかめていきなさい」。そういいながら、ペトロをたすけたのでした。

●かんがえてみよう

☆ふねにのって、むこうぎしにいくとき、イエスさまはどうされていましたか。

(マタイ14:23)

☆イエスさまがみずうみのうえをあるいてこられたとき、でしたちはイエスさまをなんだとおもいましたか。(マタイ14:26)

☆ペトロはあるきはじめたのですが、なぜとちゅうでしずみかけてしまったのですか。(マタイ14:30)



なみむ聖書

もじ独

あいているマスに、右の9文字のどれかを入れます。タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（それぞれ9マスあるブロックが9つあります）のどれにも9文字のいずれかがはいりませんが、文字が重なってはいけません。数独と同じ要領です。

みぎのうえをあるく

		る	の					
		あ	み	う	く	を	の	る
			え	る	を	み	あ	ず
う	く	を		の		る	み	あ
あ	る		く	み	う		を	の
			る	を	あ	ず		く
		の			ず	る		
ず	あ				み			
	え					あ		う

ことばあとび

今週の聖書箇所の中に出てくる言葉です。それぞれを並び替えると意味が通る言葉になります。答えてください。

- ① でいおたんす
- ② こうしむぎ
- ③ えびごさけ
- ④ ゆれうい

まちがいさがし

3つあるよ!さがしてね





牧師の 聖書 ななめ読み

「ワンマン」

ワンマンと言っても今回はトランプのことではありません。

ある日、JR横浜線に乗っていたところ、「この電車はワンマン運転です」との車内放送に驚き、耳を疑いました。どうも3月14日のダイヤ改正に合わせて始まったらしいのですが、乗降客の少ないローカル線ならまだしも、混雑する横浜線で、どうやってワンマンができるんだと思ったからです。どうしても気になって、次の機会に先頭車両に乗りました。

運転手がどのような操作をするか、見たかったからです。私は、出発前に運転手が席を離れてホームに立ち、モニターを見ながらドアの開閉をするのだろうと思っていたのですが、なんと、運転手は運転席から出てくることなく、ドアが閉まり、ホームから出て行きました。帰って調べてみると、電車の運転席にホームの様子を映し出すモニターが4台ほどあり、それを確認していたようです。最近ではホームに安全柵も設置されているため、問題がないようです。ただ、急病人が出るなどの緊急時、一人で対応できるのか心配になりますが、人材不足を補うには仕方ない流れなのかもしれません。ワンマンで驚いてはいけないかも。「ノーマン」の時代が始まっているのですから。

聖書ふれあい街歩き

●アドマとツェボイム

ホセア書には神に背き、さばかれた町の出来事がいくつか記されています。10章にある「シャルマンがベト・アルベルを踏みにじ」った戦いは、アッシリアの王「シャルマン」が、美しい町「ベト・アルベル」(どの町であるか特定できません)を滅ぼしたとの出来事だと考えられています。11章の「アドマのように引き渡し、ツェボイムのように扱う」も同様なのですが、こちらは少し参考にできる関連記事があります。

申命記 29 章 23 節を見ると、「主が怒りと憤りで覆されたソドムやゴモラ、アドマやツェボイムのように」とあり、背徳の町ソドム、ゴモラに近く、同様に罪深い状態であったことからその時に滅ぼされたと理解することができます。あの時、滅ぼされた町は複数あったのでしょうか。預言として語られているのですから、イスラエルの民たちはそれらの町を知っていたわけです。ただ、それ以上のことは分かりません。

いずれにせよ、回復できないような滅びの状態なのに、神はその深い憐れみにより、どうして滅ぼせようかと揺さぶられ、胸が熱くなるのだと言われています。それが私たちにもかけられている憐れみです。

ななめ聖書 先週のこたえ

く	て	だ	せ	さ	い	ら	す	わ
せ	ら	す	だ	わ	く	い	さ	て
わ	さ	い	ら	す	て	せ	だ	く
い	く	わ	さ	て	だ	す	せ	ら
ら	せ	さ	わ	く	す	だ	て	い
だ	す	て	い	ら	せ	わ	く	さ
す	い	ら	く	せ	さ	て	わ	だ
て	わ	く	す	だ	ら	さ	い	せ
さ	だ	せ	て	い	わ	く	ら	す

- ① えらいひとたち
- ② みのしろきん
- ③ しはいしゃ
- ④ さかずき

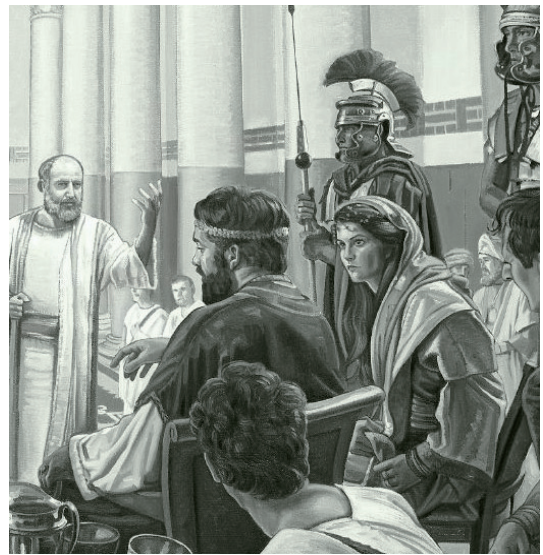


パウロの弁明

「さて、私はエルサレムに帰って来て、神殿で祈っていたとき、我を忘れた状態になり、主にお会いしたのです。

主は言われました。『急げ。すぐエルサレムから出て行け。私についてのあなたの証しを、人々は受け入れないからである。』そこで、私は言いました。『主よ、私があちこちの会堂で、あなたを信じる者を投獄したり、鞭で打ったりしていたことを、この人々は知っています。また、あなたの証人ステファノの血が流されたとき、私自身もその場においてそれに賛成し、彼を殺す者たちの上着の番もしたのです。』

すると、主は言われました。『行け。私があるを遠く異邦人のもとに遣わすのだ。』」（使徒言行録22:17～21）



弁明するパウロ

【パウロの使命】

パウロはユダヤ人たちに配慮しながら、無駄に刺激をしないように、ていねいに自分の回心の様子を語りました。この部分についてはすでに解説をしていますので、問題の部分に触れていきたいと思えます。

さて、静まりかえってパウロの話を聞いていたユダヤ人たちでしたが、パウロが「異邦人伝道」の使命を語り始めたときに、ほうぼうで声が上がってきました。ユダヤ人にとって異邦人は受け入れがたい存在、ましてや今、ローマの支配下に甘んじて生き、屈辱にまみれた生活を送っているわけです。日頃の鬱憤を晴らすべく、声を張り上げたに違いありません。

ここでパウロが使命を受けたときの様子を語っています。「エルサレムの神殿」ではっきりと「異邦人伝道に遣わす」との主からの言葉を受け取っているのですが、そうすると今までの記述と違うように感じます。というのも、パウロはダマスコへ行く途上で回心したのですが、アグリッパ王の前で弁明した際、彼は「私は、あなたが迫害しているイエスである。起き上がれ。自分の足で立て。私があるに現れたのは、あなが私を見たこと、そして、これから私が示そうとすることについて、あなたを奉仕者、また証人にするためである。私はあなたをこの民と異邦人の中から救い出し、彼らのもとに遣わす」（使徒26:15～17）と言われたのだと証言しています。つまり、回心の際に異邦人伝道の使命も受けています。主は、同時にダマスコにいたアナニアにも「あの者は、異邦人や王たち、またイスラエルの子らの前に私の名を運ぶために、私が選んだ器である」（使徒9:15）

と語られているので、ダマスコで滞在していたときに自らもその使命を受け取り、またアナニアが告げた言葉を受け取っているはずですが。この箇所を読むと、この経験が無視されているように感じる方もおられるかもしれません。

しかし、どのような場面でも言えるのですが、霊的な取り扱いというのは1回ではないのです。アブラハムを考えてみてください。主はアブラハムと何度も契約をしています。間違いのない約束ですから一度でいいのですが、それが更新されていっています。これは信仰者が新たなステージへと導かれている証拠なのです。つまり、信仰が深まっているからこそ、主からの約束がさらに具体的に明らかにされていくわけです。

パウロであるならば、まずダマスコの途上での回心があり、そこで自分の生き方、神のご計画が示されます。次に、ダマスコでアナニアに会い、アナニアに語られていた主の言葉を聞いて、福音の証人としての使命を自覚するわけです。その使命を確認するための「アラビアの伝道」（ガラテヤ1:17）だったと考えられます。そして、三番目の段階がエルサレムの神殿で起こりました。この時、パウロは「異邦人伝道」を明示され、使命として受け取って立ち上がりました。ここまでは個人的な体験です。それが人々に周知され、アンティオキア教会内で、異邦人伝道、海外宣教者として正式に派遣されるという段階を踏んだということです。

神は何度も私たちを取り扱われます。より救いを確信させ、きよめられ続けていく。そうして「練られる」ことによって、より用いられる主の器になっていくのです。

キリスト教まるわかり Q&A

◆何もわからないのですが。

必要なものはお貸しし、一つずつお教えいたします。また信仰の強要はいたしません。

◆礼拝とは何ですか。

私たちの悩みは神から離れていることに原因があります。礼拝で神を賛美し、祈り、御言葉を聞くことにより、人間のあるべき姿を取り戻していく、それが礼拝です。

◆献金とは何ですか。

神への献身を表すもので、お布施や聴講料、会費ではありません。本人の意志に任されており、あくまでも自由です。趣旨のわからない方はなさらなくても問題ありません。

◆聖餐式とは何ですか。

信仰告白をし、洗礼(バプテスマ)を受けておられる方のみになりますが、主イエスと共に生きていることを確認する儀式で、聖別された

パンとぶどう液をいただきます。

◆信者になるにはどうしたらいいですか。

自分の意志で主イエスの福音を信じ、洗礼を受けることにより教会員(信者)と呼ばれます。

◆キリスト教会は様々な教派があります。

大きく分けてカトリック教会とプロテスタント教会があります。プロテスタント教会は、設立された時代や地域、歴史的な背景によって成立が違うため、多くの教派がありますが、憎み合っているのではなく、互いの特色を認め合い、助け合っています。

◆にせのキリスト教会がありますか。

キリスト教の枠組みからずれている教えについて、私たちは異端と呼んでいます。代表的な団体には「エホバの証人」「モルモン教会」「世界平和統一家庭連合」などがあります。特に韓国系キリスト教活動にはお気をつけください。お困りの方は牧師までご相談ください。

2026年教会暦・年間行事

(#はその年によって変動します)

「教会暦」はキリストの生涯をたどりながら1年を過ごすために作られました。当教会では教会暦に、継承されてきた伝統的記念日を加え、守っています。

顕現節(1/6～#2/17)

降誕日(12/25)から12日後に東方の博士がキリストを礼拝した顕現日(1/6)から始まります。降誕されたキリストが世界の救い主であることを覚えて過ごします。顕現節の最終主日は受難の整えをされた変貌のできごとを覚え、変容主日(#2/15)として守ります。

四旬節(#2/18～#3/28)

前年に使用したしゅろの枝を灰にしてかぶり悔い改めを表した儀式(この教会では行いません)、灰の水曜日(#2/18)から始まります。レントとも呼び、主日を除いた復活日前日までの40日間、キリストの受難を覚えて過ごします。

四旬節に続く受難週(#3/29～4/4)は、主イエスの最後の1週間を覚える週で、エルサレム入城に際し、しゅろの枝を用いて歓迎したしゅろの主日(#3/29)から始まり、洗足と主の晩餐が行われた木曜日(#4/2)、十字架にかかられた受難日(#4/3)と過ごしていきます。

復活節(#4/5～#5/23)

キリストが死にかけて復活されたことを祝うイースター(復活日・#4/5)から始まります。春分の日の後の最初の満月の次に来る日曜日と定められているので、祝日が毎年変動します。40日後のキリストの昇天(#5/14)を迎えたのち、復活節の最終主日(昇天主日 #5/17)となります。

聖霊降臨節(#5/24～#11/28)

復活日から50日目、聖霊が使徒たちに降ったことを記念する聖霊降臨日(ペンテコステ・#5/24)から

始まり、三位一体主日(#5/31)では父、御子、御霊の働きを告白し、過ごします。最も長い節期となります。

待降節(#11/29～12/24)

救い主キリストの誕生を祝う備えをしながら、待ち望むアドベント(待降節)は、11月30日に一番近い主日から始まります。降誕を祝うクリスマスは12月25日ですが、クリスマス礼拝(#12/20)は、25日以前の日曜日を選んでをささげています。

降誕節(12/25～1/5)

イエス・キリストの誕生を祝う日(12/25)から始まり、顕現日前日までの期間を指します。

【記念日】

母の日(5/10・5月第二)
ウェスレー回心記念日(5/24・1738年)
花の日(子どもの日・6/14・6月第二)
父の日(6/21・6月第三)
ホーリネス弾圧記念日(6/26・1942年)
宗教改革記念日(10/31・1517年)
収穫感謝日(11/22・11月第四)

【当教会行事】

新年元旦礼拝(1月1日・木)
成人祝福礼拝(#1/11・1月第二)
聖書愛読週間(#3/22～28)
みふみの日(3月23日)
教会創立記念礼拝(3月最終主日/創立記念日3/29)
最後の晩餐集会(#4月2日夕)
召天者記念合同礼拝(#6/14・6月第二)
弾圧記念礼拝(#6月28日・26日前後の主日)
石出忠師記念礼拝(#7月5日・7月第一)
敬老祝福礼拝(#9/13・9月第三)
子ども祝福礼拝(#11/1・11月第一)
クリスマスイブ礼拝(12月24日夕・木)

教会紹介

●歴史

私たちの教会は、ジョン・ウェスレーを源流とするメソジスト(青山学院、東北学院など)の信仰を継承しており、メソジストの教職であった中田重治が1901年に創立したホーリネス教会の信仰を受け継いでいます。2022年3月27日に創立いたしました。

●教義

旧新約聖書66巻を誤りない神の言と信じ、唯一の正典として信仰生活の規範にしています。また三位一体の神を信じ、イエス・キリストによる以外に救いがないことを告白しています。特色は、下記に紹介する四重の福音を強調していることです。

【四重の福音】

四重の福音は、長老教会の牧師A. B. シンプソンが提唱したものを、ホーリネス教会の創設者中田重治が自らの信仰に基づいた理解を加え、福音宣教の際に掲げた教えです。

人間の幸せは神と共に生きることで実現するのですが、神を認めず生きているため、むなしく日を過ごしているのが現実です。しかし、イエス・キリストが十字架によって神と人との絆を回復してくださったのです。これが福音です。この福音を信じることで、人間は本来もっていた真の幸いを覚えながら、充実した人生を送れるのです。

中田は、聖書に書かれてあるこの福音をわかりやすく語るべく、前述の提唱にある新生、聖化、神癒(しんゆ)、再臨(さいりん)の4項目に基づいて、以下のようにまとめました。

◆**新生** キリストの十字架と復活を信じ、新しく生まれ変わる。これにより、天に住まう者のように、日々喜びが与えられる。(コリントの信徒への手紙 2:5:17 など)

◆**聖化** 神に属する者であるとの自覚が与えられたことで、自己中心に生きていた心が砕かれ、同時に神中心の生活を求め始め、神のきよさに近づくこと。(ガラテヤの信徒への手紙 2:19 ~ 20 など)

◆**神癒(しんゆ)** 肉体を持っているがゆえに弱る私たちが、神のあわれみにより、病い、そして死の恐怖にも打ち勝つ力が与えられ、苦しみから解放されること。(出エジプト記 15:26 など)

◆**再臨(栄化)** キリストが再び地上に来られること。その時、死んだ聖徒たちは復活し、生ける信徒は死を経験せずに天に挙げられる。(コリントの信徒への手紙 1:5:51 など)

教会の信条

さがみはら きょうかい いか しんじょう かか
相模原ホーリネス教会は以下を信条として掲げています。

わたし
私たちはイエス・キリストを救い主として信じています。

しゅ
主イエスは、「神の国は近づいた。悔い改めて福音を信ぜよ」と宣言されてから約3年間、ひとびとを救い、人々にその教えとみわざを通して神の国の恵みを明らかにされ、そののち、私たちの罪を負って、十字架にかかれ、あがないを成し遂げ、神の国にはいる救いの道を開かれました。

この主イエスの救いへの招きに応じて神の国に属して生きる者となった私たちは、聖書が示しているこの時代に、使命を全うすべく、「あなたこそ生ける神の子キリストです」と信仰告白をした者たちと共に、神の国の鍵を与えられた教会の一員とされたことを覚えながら、聖霊の助けによって以下のことを宣証しつつ歩みます。

- ①キリストによる完全な救い
- ②真心からささげる礼拝
- ③キリストをかしらとした教会の交わり
- ④神の憐れみによるいやしと慰め
- ⑤信仰生活がもたらす祝福
- ⑥世界にも目を向けたとりなしの祈り
- ⑦神の愛に基づく社会への貢献

MEMO

単立 相模原ホーリネス教会

創立 2022年3月27日

主任牧師 土屋 和彦 牧師 石出 佳代子 牧師 土屋 淳子

252-0205 相模原市中央区小山 3-31-3

TEL&FAX 042(772)8910 e-mail church@bethels.info

ホームページ <http://www.bethels.info/>

